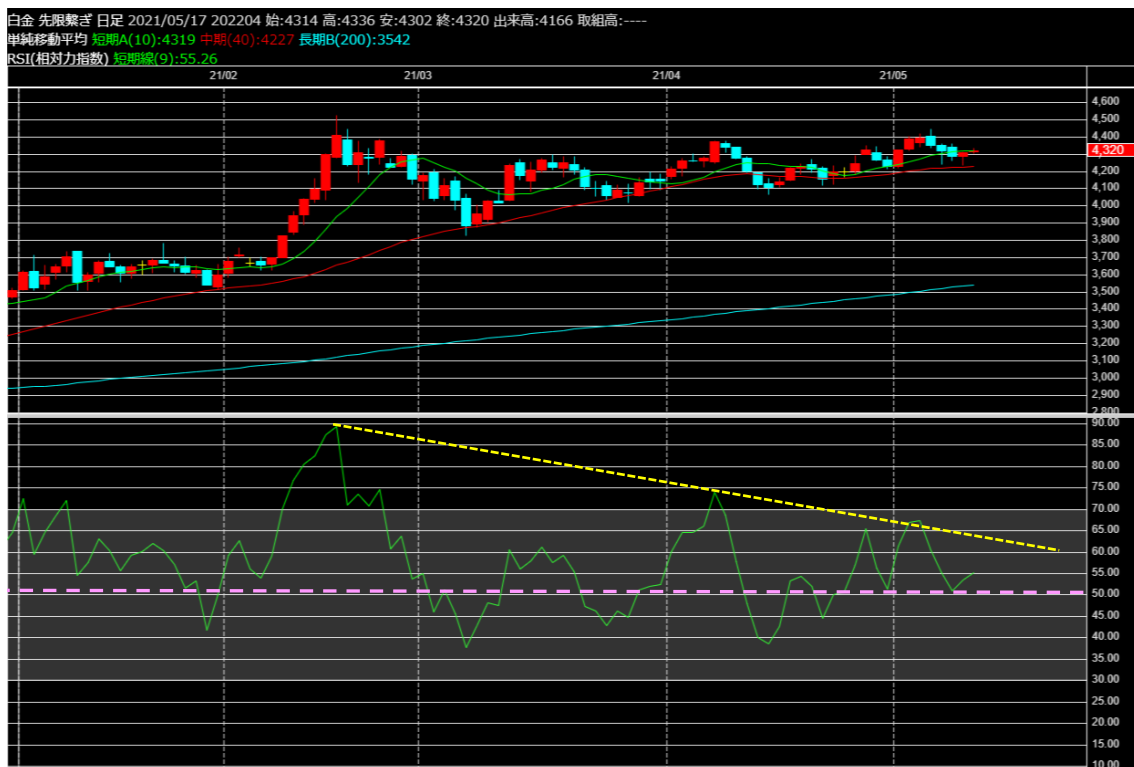


＜白金標準先物：4200 円を固め 4447 円へ＞



(出所：オアシス)

白金標準先物は、先週に 4447 円まで高値を試しながら金標準同様にインフレ指標の CPI や PPI の発表を機に金利高：ドル高の影響を受けて下値を模索している。また南アフリカの 3 月の鉱物生産の発表で前年比で 21.3%増を示し、PGM が前年比 68.6%増を示すなど最大の貢献を示している。そのためドル高：金利高と生産高の影響を受けて調整を見せた状況である。しかし前年 3 月は新型コロナ・ウイルスのパンデミックを受けたロックダウンの月でもあり大幅増加は一時的な要因と考える方が妥当である。また NY 白金が 1200 ドルをキープするなど、白金標準先物でも 4300 円以下は買い場の提供と捉えるのが良いと思える。

(2021 年 5 月 16 日記載)

＜テクニカル＞

相対力指数（9 日）で見た場合は、強弱の分岐点である 50%で下げ渋る展開を示すなど依然と強気を維持している。また先週に相対力指数の下降ラインをブレイクする直前であったが、再度下げるなど出直りの動きを強めて来る確率が高く、再度今週も下降ラインをブレイクする試みを見せて来ると思え、強気を維持する相場展開が予想される。

＜データ＞

NYME X 指定倉庫（トロインオンス）：690482（前週比-349）

世界のプラチナ ETF 残高（トン）：75.73（11 日現在）